



学校だより

さくら草

〒331-0058 さいたま市西区飯田 811

Tel 623-0775 Fax 624-2336 <http://sakae-e.saitama-city.ed.jp/>

さいたま市立栄小学校

2月号

令和6年1月31日



「おかしもち」で自分の身を守る子に

校長 安島 俊之

新学期が始まって1ヶ月が過ぎました。子どもたちは元気ある毎日を送っています。1月には給食週間がありました。初めに、給食室で給食が作られる様子を映像で紹介しました。朝早くから準備をしたり、大きな鍋を使って調理をしたりしている様子に子どもたちは驚いていました。翌日からは6年生の各学級で考えた献立や5年生によるセレクト給食を提供しました。教室からは子どもたちの歓声がいつも以上に聞こえました。こうした取組はもとより、行事と関連付けた献立、地域に根差した献立、お誕生日献立など、工夫を凝らした給食が栄小学校では提供されています。また、ボランティアの方々と子どもたちが会食する機会も設定し、給食を通じた交流も行っています。給食を通して多くのことを学んでいます。

1月25日に不審者対応訓練を行いました。不審者が校舎内に侵入。その後、教室にまで侵入するという想定です。この訓練を実施するにあたり、1月9日には警察署の方をお招きし、職員による研修も行いました。訓練当日、子どもたちは教員の指示をよく聞いて避難していました。職員も初期対応の仕方を確認することができました。警察署の方がおっしゃるには「不審者が侵入したときの対策も大事だが、それよりも不審者を侵入させないことが大切」だそうです。そのためには「①声をかける、②素性の分からない人は校舎内にいれない」ことだそうです。改めて、保護者の皆様には、来校の際は保護者名札の着用をお願いいたします。また、来校された方には職員がお声掛けさせていただくことがあります。子どもたちの安全・安心のため、ご理解、ご協力をお願いいたします。

学校では計画的に避難訓練を行っています。今年度は、1学期に地震から火災発生の想定での訓練、2学期に竜巻対応訓練と荒川の決壊を想定した水害時の対応訓練、そして3学期に不審者対応訓練を行いました。災害や危険はほかにも様々に考えられますが、全ての想定に対応して訓練を実施することは現実的ではありません。限られた回数の避難訓練で学んだことを、実際の様々な緊急時に臨機応変に活用できるようにしておきたいものです。避難訓練の際に共通して子どもたちに話すキーワードがあります。「おかしもち」（不審者対応ではその一部の「おもち」）です。「押さない、駆けない、喋らない、戻らない、（危険な場所に）近づかない」の頭文字です。様々な危険は考えられますが、まずは「おかしもち」や「おもち」を守り、自分の身を守る力を付けていくことが大切だと考えます。

1月1日の能登半島地震発生から1ヶ月が経ちました。日々のニュースに改めて被害の大きさを感じています。1日も早く日常が取り戻せることを願っています。そして、私には何ができるのか、自分自身に問いかけています。栄小学校も災害時には避難所となります。そこで大切になってくるのは自助・共助です。自分の身や家族を守る。そして、周りの人と力を合わせて助け合う。学校での避難訓練や日々の教育活動を通して、自助・共助の素地となる力も育てていきたいと思っています。ご家庭でも非常時の避難等について話し合ってください。

さて、3学期には3・4年生によるさくら草の芽出しや芽植え、3年生によるお囃子の発表と、栄小ならではの教育活動があります。1月から準備、活動を進めているところですが、ボランティアの皆様方にお力添えをいただきながら、より有意義な活動となるように進めてまいります。

お知らせ

2月11日（日）にREDSWAVE（87.3FM）の「さいたま市未来くるFM放送局」で栄小の子どもたちの声が放送されます。12:00放送開始です。ぜひお聞きください。（REDSWAVEのHPでは聞き逃し配信もしていますので、オンタイムで聞けなかった方はこちらからお聞きください。右のQRコードからどうぞ。）



2月の生活目標 自分の持ち物に名前を書き、大切に使いましょう。

2月11日（日）
さいたま市未来くるFM
放送局 栄小放送日